

3 かわってきた人々の暮らし

(1) 古い道具と昔の暮らし

昔の道具



石うす

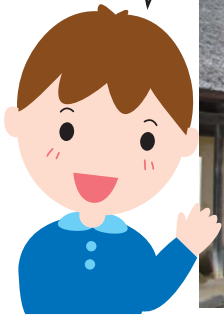
(上の穴から豆などを入れて回して粉にした)



いちこ

(ごはんがさめないように入れておいた)

れきし しみんぞくしりょうかん
歴史民俗資料館には、
たくさんの昔の道具が
おいてあるよ。



田村市歴史民俗資料館



水がめ

(水をくんでおいた)



てつ
鉄びん (お湯をわかした)



むし
蒸しがま (炭でごはんをたいた)

100年くらい前



ランプ



はたおり機



みそやしょうゆのほか、着るものもたいていは自分の家で作っていたんだよ。電灯でんとうもなく、ランプを使っていたんだよ。昔の子どもの中には、子守りこもりといって、よその家にずっと泊まって、赤ちゃんめいの面倒めんどうをみる仕事をする人もいたね。



当時の船引駅



磐越東線ばんえつとうせんは、1917年（大正6年）に完成したんだよ。そのころは、毎日のように弁当を持って汽車を見に行っていたもんだ。

田村市は当時、養蚕ようさんがさかんなところだったので、汽車のけむりくわで桑が被害ひがいを受けるといって、鉄道を作るのに反対する人もいたそうだね。

磐越東線が開通する前は、今の船引駅前には田んぼばかりで、家はあまりなかったんだ。でも開通してからは、お店や家がたくさん立ち並ぶようになったんだよ。磐越東線ができたことによって、町の中心地の様子が変わってきたんだよ。

80年くらい前



そかいしてきた子ども



せんそう中の教科書

戦争せんそうのころは、空襲くうしゅうといって飛行機ひこうきから爆弾ばくだんが落とされ、たくさんの人が命いのちをうばわれたり、家を焼やかれたりしたんだって。食べる物もなく、いもやすいとんが食べられるときはまだ良いほうで、草まで食べたそうです。お寺かみの鐘かねも大切な金属きんぞくとして戦争に使われました。東京などから、疎開そかい（いなかひなんに避難すること）してくる人もいたそうです。



戦争に使われた入水寺(滝根)の鐘



飛行機ひこうきが飛んできて、大越の町に何発も爆弾ばくだんを落としていったんだよ。とても大きな音がして、びっくりしたよ。みんな自分の命を守るのにせいいっぱいで、一生懸命いっしょうけんめいに山の方に逃げたんだ。

その空襲くうしゅうで、大越の家76戸が燃え、住民が4人ほど亡なくなったんだよ。亡くなった人の中には、知っている人もいたので、とても悲しかった。もう2度とあんな思いはしたくないね。



20年くらい前～



船引駅

船引駅の2階は田村市コミュニティプラザになっていて、トレーニングジムや図書コーナーなどがあるんだよ。



カブトムシ王国には、たくさんかんこうきゃくの観光客が訪れます。田村市には、有名な観光地がたくさんあるのよ。



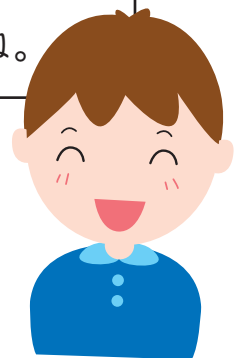
ムシムシランド (常葉)

星の村天文台やあぶくま洞などは、全国でも有名です。



田村市

平成17年に5つの町村が合併して、田村市になったんだよ。これからますますゆたかになっていくといいね。



昔のくらしの調べ方

1 調べること

- ・遊び
- ・学校の様子
- ・生活の様子
- ・食べ物 など

2 調べる年

- ・100年くらい前
- ・80年くらい前
- ・20年くらい前

3 調べ方

- ・古い写真や資料をさがす
- ・おじいちゃんやおばあちゃんなどに話を聞く

4 まとめ方

- ・年表にする
- ・新聞を作る

昔のくらしを調べる計画を立てよう

(2) のこしたいもの、つたえたいもの



田村市歴史民俗資料館



まえだ いせき
前田遺跡



もくぞう あみだによらいりゅうぞう
木造阿弥陀如来立像



やかた にんぎょうさま
屋形のお人形様



あべもんじゅぼさつどうさんかく
安倍文殊菩薩堂の算額



いしばし
石橋遺跡



きゅうおおごえ
旧大越娯楽場(大越武道館)



こまつさんびきじしまい
子松の三匹獅子舞



いそざきじんじやしやでん
磯前神社社殿



いりさんどうさんびきじしまい
入三洞の三匹獅子舞



いりみずさんじゅうさんかんのん
入水三十三観音

わたしたちの身の回りには、昔から伝わる古いものや行事、お祭りなどがほかにもたくさんあるはずだよ。見学したり、調べたりしてみよう。



図書館や学校にある「田村市の文化財」という本にも、くわしく書いてあるよ。